

令和 元年 09 月 06 日

TJCAS-2019 参加報告書

群馬大学大学院 理工学府
理工学専攻 電子情報・数理領域
小林研究室 M2 趙 宇杰



参加学会名称

2019 Taiwan and Japan Conference on Circuits and Systems
(TJCAS-2019 at Nikko)

開催場所

輪王寺「紫雲閣」1,2 階
Hotel「千姫物語」
日光東照宮「客殿」

開催期間

2019/08/19(月)~8/21(水)

1、参加学会について

TJCASはTaiwan and Japan Conference on Circuits and Systemsの略であり、米国電気学会(IEEE)主催の回路とシステム関係の国際学会である。目的は、回路およびシステムに関連する最新の結果について交換するためのフォーラムを提供することである。本会議は2015年から開催しており、今回で5回目の開催である。今年には日本の歴史文化都市である栃木県日光市で開催された。群馬大学小林研究室から29名(学生27名、教員2名)が参加し、28件のポスター発表を行った。

8月21日のPoster Session 3の3B-09(ADC / Testing)にてExamination of Input Signal to Reduce ADC Histogram Test Timeのタイトルにてポスター発表を90分間行った。発表の内容は、ヒストグラムテスト法によるADC試験短時間化のための入力信号に関する考察である。

今回の発表は源代先生から懇切丁寧なご指導をいただいた。先生はヒストグラムに対して、ランプ波と正弦波の使用とオフセットが集中位置に及ぼす影響などいろいろなことを教えてくださいました。源代先生に心より感謝申し上げます。

発表の準備が十分ではなく、英語の説明が非常に流暢ではなかった。質問してくれた人に



感謝する。私が理解していない時も質問の仕方を変えて理解させてくれた。伝えたい情報があるのに、英語ではうまく説明できなかった。英語力の不足を感じている。私は自分の英語がまだ十分ではなく、英語を学ぶ動機がさらに高まっていることに気付いた。

写真1 「東照宮客殿」での基調講演



写真 2 集合写真



写真 3 「東照宮客殿」

2、交流について

レセプションで日本の友達とお酒を飲みながら話をするのはとても楽しかった。台湾の友達もたくさんできた。この学会に参加して、コミュニケーションにとってとても有益だった。



写真4 レセプション (8月19日(月) ホテル千姫物語)



写真5 レセプション



写真6 折り紙



写真7 刺身



写真8 「東照宮客殿」外

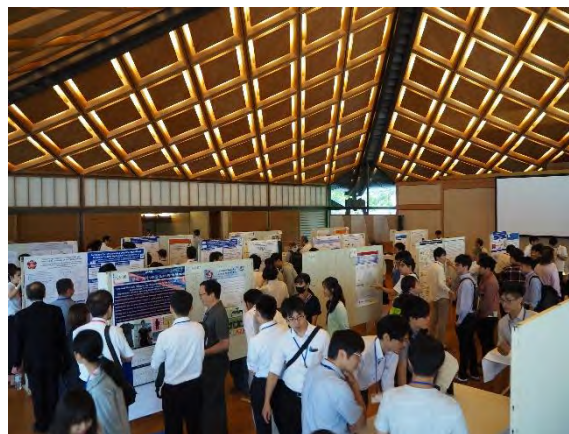


写真9 ポスター会場

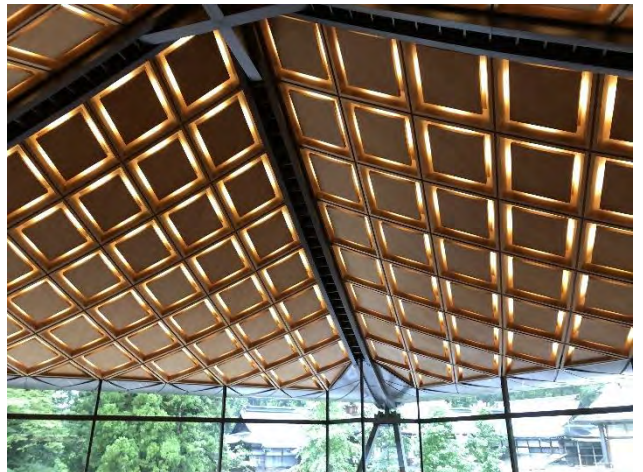
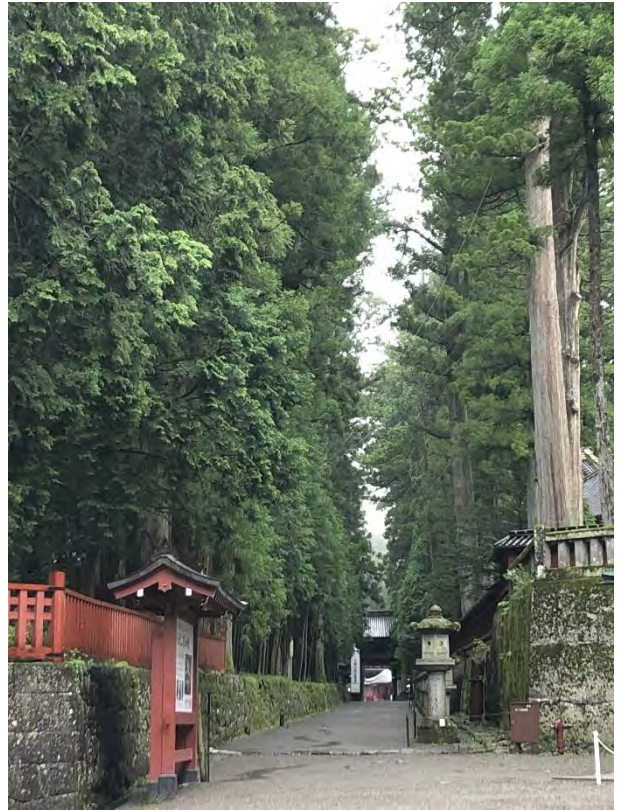
3、文化体験について

世界遺産内で開催される学会に参加するのは初めてである。人との交流のほかに、景色も楽しめて、とても楽しかった。



写真6「輪王寺 紫雲閣」





4、感想

この会議に参加して学んだことは、将来の研究に役立つと考える。他の大学の先生や学生とのコミュニケーションを通して、私は自分自身の研究に関する理解を深めるだけでなく、他の知識も得ることができた。英会話能力を向上させたいと思った。

日光は美しく、まさに日本文化を体現する場所であった。この国際会議への参加は、忘れられない経験になった。

このような貴重で有意義な機会を与えてくださり、研究を指導して頂きました小林春夫先生、学会参加のサポートをしてくださった桑名杏奈先生に感謝を申し上げます。今回学んだことを今後に生かせるよう日々精進してまいります。